

第3回議会改革特別委員会会議録

1. 日 時 令和6年12月4日（水） 午前11時
1. 場 所 3階委員会室
1. 協議事項
- 1. 委員長挨拶
 - 2. 議会業務継続計画（BCP）について
 - 3. 議会報告会について（アンケートを受けて）
 - 4. 次回の委員会について
 - 5. その他
1. 出席委員
- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 委 員 長 | 遠山健太郎 | 副 委 員 長 | 氏原 賢一 |
| 委 員 | 服部 公英 | 竹中 亮造 | 竹之内 剛 |
| | 石丸 典子 | 康村 昌史 | 木内 利雄 |
| 議 長 | 牧浦 秀俊 | | |
1. 事務局
- | | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 局 長 | 金崎 恭彦 | 書 記 | 森本香寿美 |
| 書 記 | 横田 大樹 | 書 記 | 林 大貴 |

開会 午前 11 時 06 分

○遠山委員長 改めまして、皆様、お疲れさまでございます。本日は、12月議会の議会運営委員会、そして議案説明会の後というところで、大変ご多用なところと思いますが、ただいまより第3回議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

本日、主な議題としましては、議会業務継続計画（BCP）について、そして、先日行われました議会報告会についてということで、主な次第をしていきたいと思います。第2回におきまして、議員研修費のある程度の一定の方向性を皆さんで議論させていただきました。これにつきましては、いずれ全議員にて情報共有をしていきたいというふうに思いますけれども、今日はこの2点につきまして、皆様の闊達なご意見を頂きたいと思います。

それでは、まず議会の業務継続計画につきましてですが、こちらにつきましては先進地事例の説明、報告をまずいただきたいと思います。

去る11月20、21日と、上牧町議会の議会運営委員会におきまして先進地の視察をしていただいていますので、そちらについての説明からまずお願いしたいと思います。

木内議会運営委員長。

○木内委員 木内でございます。あと、私からは少しだけ報告させていただきますが、当日、20、21日、日野町に参加した議員皆さんにおかれては、補足で報告していただきたいと思いますからよろしくお願いいたします。

それでは、私からは、今委員長からございました、日野町議会へ視察させていただきました。このときに、議長はじめ副議長、またこれに関する委員長、議運の委員長とか多くの議員がお出迎えを頂きまして、闊達に意見交換をさせていただいたところがございます。なお、日野町議会から頂きました資料に関しましては、先日議会事務局から皆さん方のタブレットに資料を表示させていただいているところがございますので、ご覧いただきましたら幸いです。

それでは、中身に入らせていただきますが、どこもやっぱりBCPは悩んでおるところなんですね。皆さんのタブレットにある資料を見ていただいたお分かりでございますけども、要は、目的としては日野町議会は大規模災害時の発生の際に、二元代表制の一翼を担う議会機能を継続することで、日野町の行政が復旧または状況の改善に向けて円滑かつ迅速に対応できることを目的に、日野町議会業務継続計画（以下BCPという）を定めるということで定められておるわけですが、内容をずっと読んでもあれなんですけども、皆さんのところ、タブレットにお配りしているので、詳細はそこで見ていただいたらよろしいかなと

と思いますが、日野町議会の業務継続計画については、令和3年ですので、3年前なのかな、令和3年5月にこの計画書を作成したところでございまして、私から業務継続計画について、どう計画がスムーズに実施できるように、平時に取り組んでいることはありますかというところで申し上げたんですが、まだ1回もやってないというような返事でございまして、まだ日野町もいろんな意味で悩んでおられるのかなというふうに察したところでございます。これは、日常の、半年に一遍なのか、1年に一遍なの分かりませんが、日常にやっぱり訓練していただかないと、起こったときにスムーズに行動に移せないのではないかなというふうに感じて帰ってきたところでございます。

私からは以上でございます。

○遠山委員長 木内委員長、ありがとうございます。また、視察、大変お疲れさまでございました。資料の提供もありがとうございます。

ということで、議会運営委員会で視察に行かれたということで、先ほど木内委員長からありましたけども、この委員の皆様の中で参加された方で、何か補足でご意見、感想のある方ありましたら、挙手お願いできますか。

（「なし」と言う者あり）

○遠山委員長 なければ、日野町議会の業務継続計画ということで、お手元のタブレットに配付のとおりなんですけど、ユーチューブでご覧の住民の方は何なのかと、分からないかなと思うので、要は議会が発災が起きたときからいち早い復興をするためにはどういうふうにしたらいいかと。いかに業務を元に戻すにはどうしたらいいかを定める計画であるということで、内容的にはBCP、これを発動するときはどういうときなのか、震度6弱なのか5強なのかということとか、その際にどういった行動をとるのかということが記載をされているのが業務継続計画ということで、大枠の内容があるかなと思います。

木内委員長、そこで踏み込んでいただいて、これに伴って具体的な取組についてどうしているのかということで、訓練が必要だということながら、なかなか難しいので悩んでいるというお話があったということでした。

ということで、先進地事例の報告ということで、実はもう2点、お手元の配付にありますけども、近隣で言いますと王寺町並びにあと平群町でも、同じような業務継続計画が策定されています。これにつきましては、西和7町の近隣圏、近隣市町というところで、情報提供いただきました。牧浦議長、今日はオブザーバーで参加をしていただいていますので、王寺町と平群町の業務継続計画についてのご説明をお願いします。

○牧浦議長 それでは私が、平群町と王寺町と、BCP、やらせていただいたんですけども、ましてや日野町も、僕、行っているんです。それで、あともう1か所、議長会でもBCPのところ、西脇市行かせていただいて、感じるどころ。全て読んでいくとあれなんですけども、やっぱり王寺町と日野町は近かったと。新しいほど、やっぱり同じようなことを言われておったと。議会は邪魔をするなというのがやっぱり一番鉄則らしいです。

それで、さっき委員長が言うていましたように、地震は、上牧町の動員配備というのがあるんですけども、それとやっぱりリンクしていかなくちゃいけないということで、王寺町は震度6強以上の地震が発生したときとなっていますが、上牧町のBCPでは6弱になっています。

そして、王寺町は水害、町内における12時間の連続雨量が316ミリを超えると見込まれたときとあるんですけども、町のBCPには水害は載ってないです。これをどうするのかということと、それから発動の決定ですね。ほとんどのところは議長が発動を行います。さっき言うていましたように、あまり議会は邪魔するなということになっているんですけども、発動は議長で、代理の順位も決めていくと。やっぱり、被災を受けたときに、もう本当に、議長が来れなかったら誰がするかを決めておく必要もあると思います。

それと、先ほど木内委員長がおっしゃってくれはったように、議会の役割はさっきも、王寺町も同じように、大規模な災害が発生した非常事態においても継続して果たすべきであり、必要に応じて審議等が行えるよう体制を整えておく必要がありますとあります。これもまだ、さっき木内委員長もおっしゃっていたように、今もう2年たっているんですけども、王寺町もそんなことも全然やってないらしいです。みんな、つくるのはつくるんやけども、あとどうしていったらいいのかも、まだまだ先になってくると思いますという返事でした。

ここで上牧町の、この前、防災訓練、みんなになるべく出てくださいということやったんですけども、このBCPを鑑みて出てほしかったんですけども、そのときに、この王寺町の中には議員の役割としては、災害発生時には地域の一員として地域の救護、救護活動などに協力する役割も担いますとあります。上牧町ではこの前の訓練のとき、自治会長の議員、自主防災組織の議員と、日赤の救護活動の議員と。これは上牧町独自ではないかと。さっき言うていました3か所のところでも、これは防災訓練のときにこんなことがあったので、3か所で聞きました。でも、3か所ともそういう人は議員の中には1人もいないと。王寺町は政治倫理条例があって、自治会長、自主防災組織、町から予算の入るところへ議員は一切入れないというようにしておるみたいです。これはやっぱり上牧町独自で、これから自治会長の

ことも、自主防災組織のことも、日赤なんか特にそうですけども、本当にこれ、何年もできなかったのに、やっとなんかつくってくれはった場所でもあるんです。この辺は熟考しなくちゃいけないところかなと思っております。

議会災害対策支援室というのをつくるということは、もうどことも同じことだったんですけども、ちょっと違うところは、王寺町、日野町は、全員集めずに、議長、副議長、議運の委員長、文教の委員長、総務の委員長、計5人と、こういう具合なイメージでやっておるみたいです。これも上牧町自体も考えなくてはいけないことかなと私は思っております。

あとに関しては、委員長にお任せしようと思うんです。設置場所であるとか参集対象者、議員の参集時の連絡体制、それからヘルメットの問題ですね。みんなヘルメットがあるみたいです。それと、BCPを発動したときは、王寺町はグループLINEでやるみたいです。日野町はタブレットを入れると。まだ入ってないです。入れるという報告がありました。そして、それ以外に伝言ダイヤルの171を利用するということもあります。とにかく議会BCP発動時の議員及び議会事務局の行動基準は、みんなで話し合っていって決めるべきではないかと私も感じております。

今、はしょって発言させていただきましたけども、本当にBCP、ほぼほぼ同じような方向でいっております。新しくなればなるほど簡素化されていって、なるべく議会は邪魔をしないというようなイメージ、イメージですよ、イメージになっております。

以上で報告を終わらせていただきます。あと、委員長、よろしくお願いいたします。

○遠山委員長 牧浦議長、お手間をおかけしました。ありがとうございました。

続いて、平群町のほうもしよかったらお願いできますか。

○牧浦議長 平群町もほぼほぼ一緒なんですけども、王寺町を見ると平群町のは発言するほどはないということで、割愛させていただきました。

○遠山委員長 牧浦議長、ありがとうございました。

今、牧浦議長から王寺町と平群町のBCPのお話がありました。その中で印象的だったのが、政治倫理条例ですか、自治会長との兼務まで踏み込むべきじゃないかというご意見があったというのがすごい印象的だったなというふうに思うんですが、こういう中で、皆さん、お手元の資料を見ていただいた中で、私が特に感じたこと、所見を述べさせていただきますと、日野町と、あと王寺町、平群町と大きく違うのは、平群町と王寺町は、議会の災害対応推進室の設置要綱までつくっているんですね。要綱をつくった上でBCPをつくっているというのがポイントで、日野町がつくっているかどうかは定かではないですが、BCPにはそ

の要綱に基づきと書いていないので、恐らくBCPだけをぽんつつくったというイメージがあるのではないかなと思っているんですが、その辺りを上牧町が要綱からつくるかどうかということも議論をしていかなきゃいけないかなと思うと同時に、BCPについては、今先進事例3つですけれども、先ほど議長から話がありましたが、西脇市であるとか、あとは去年の議長会で行きました三重県明和町であるとか、先進地事例がたくさんありますので、ここで1つのご提案なんですけど、上牧町の業務継続計画（BCP）を作成するにはこういった形で作成すればいいかなと思うんですが、一番早いといえますか、イメージ湧きやすいのは、先進地事例を参考にしてそれをたたき台にする。たたき台をして、皆さんでもんでいただいて、上牧町独自のBCPをつくっていく。先ほど議長から話がありましたが、例えば発動時は震度6弱なのか、6強なのか、5強なのか。これは上牧町の地域防災計画に準拠する必要があるかなと思うんですが、そういうのを見ながらたたき台をつくるという形をまずしていきたいと思いますが、その辺り、皆さんどうですか、ご意見。

（「異議なし」と言う者あり）

○遠山委員長 では、これからたたき台を作成していく作業をしていきたいと思うんですが、ご承知のとおり、今、委員、今日は議長にオブザーバーで来ていただいておりますけども、委員8名でみんなでたたき台をつくるというのは大変なのでも、この中から何名か抽出していただいて、たたき台をつくってもらおうかなと思うんですが、メンバー、どなたか立候補される方とかいらっしゃいますか。大体2人から3名ぐらいでいいかなと思うんですが。

牧浦議長。

○牧浦議長 3人でやっていくということには問題ないんでしょうか。

○遠山委員長 イメージは、ここで作業をするのは大変なので、一度持って帰っていただいて、3名で、僕は3名ぐらいかなと思っているんです。それと、あと事務局にももちろん入っていただいて、上牧町のBCP計画案をつくっていただいて、それを次の第4回の議会改革特別委員会で皆さんで議論をすると。これでよかったら、もうこれでいこうということで、全員協議会か何かに諮って、それで決めていくという形がいいかなと思うんですが。それが作業的に一番効率的かなと思うんですが、いかがですか。

（「異議なし」と言う者あり）

○遠山委員長 立候補される方、もしいらっしゃらなければ。

氏原委員。

○氏原副委員長 私は入りますけども、ほかは委員長一任でよろしいかと存じます。

○遠山委員長　という副委員長のご意見ありましたけども、一任でよろしいですか。

（「異議なし」と言う者あり）

○遠山委員長　ありがとうございます。

では、3名でいきたいと思うんですが、今、氏原副委員長に立候補していただいたので、副委員長には入っていただいて、取りまとめをお願いしようと思っていて、私の中で、もし可能でしたら竹中委員、お願いしたいと思います。それと、日野町に行っていたので、議会運営委員会から竹之内副委員長、もしよかったらお願いしたいと思いますが、お二人、いかがですか。

○竹中委員　了解しました。

○竹之内委員　了解しました。

○遠山委員長　ありがとうございます。では、大変お手間をおかけしますが、氏原副委員長、竹之内委員、竹中委員3名と、あと事務局、局長、職員の方についていただいて、たたき台を作成していただくと。それを基に次の議会改革特別委員会でその案をもむという形で決したいと思います。いかがですか。

（「異議なし」と言う者あり）

○遠山委員長　ありがとうございます。

では、次の委員会の日程を後で決めるんですが、たたき台をつくるのは時間かかると思いますので、少し時間を置くようにしますね。

ということで、議会業務継続計画について、ほかに何かご意見ある方。

（「なし」と言う者あり）

○遠山委員長　ありがとうございます。

では、続きまして議会報告会についてです。これは、第2回の議会改革特別委員会の終わりのときには、この次第は載せていなかったんですが、11月16日、全議員出席の下で議会報告会を開催させていただきました。本当に皆様、お疲れさまでございました。議会改革特別委員会のそもそもの議論の中に議会報告会をどうするべきかという議論もありましたので、この際、近々でしたのでホットな話題でもありますので、ここで意見を皆さんに募りながら、いずれ全議員で議論はすることだと思うんですが、まずアンケートの集計を事務局にしていまして、お手元に資料もありますが、事務局からアンケートの集計の内容についての説明をお願いします。

○金崎議会事務局長　11月16日開催の議会報告会で、議会報告会のアンケートの集計結果とい

うことで、タブレットに集計表を掲載させていただいております。

Q 1 で、今回、議会報告会（座談会）は何でお知りになりましたかという問いで、町の広報紙が 6 名、議会だよりが 6 名、議会のホームページ 1 名、知人・友人（議員以外） 2 名、その他はございませんでした。

次に、今回の議会報告会（座談会）に満足されましたかという問いにつきましては、①で開催希望回数（年間）ということで、満足された方 1 名、やや満足が 6 名、普通が 2 名、やや不満が 1 名、不満、未回答についてはございませんでした。

2 番目に、時間帯でございます。今回の議会報告会の時間帯について、満足された方につきましては 4 名、やや満足が 5 名で、普通が 1 名で、やや不満と不満、未回答はございませんでした。

次に、場所でございます。満足が 6 名、やや満足が 3 名、普通が 1 名、やや不満、不満、未回答についてはございませんでした。

内容（テーマ）については、満足が 4 名、やや満足が 1 名、普通が 3 名で、やや不満が 2 名、不満と未回答はございませんでした。

進め方につきましては、満足 1 名、やや満足が 2 名、普通が 3 名、やや不満が 3 名、未回答の方が 1 名おられました。

次に、Q 2 で、やや不満と回答された方の意見についてでございますが、1 番で開催希望回数については年 4 回以上というふうな回答がございました。

時間帯については、読み取りの不可が 1 件あって、その辺については掲載はできませんでした。

場所についてでございますが、今回委員会室でライブ中継で実施させていただいたんですけども、場所が狭い、多くの町民が参加することを想定していないというご意見がございました。

4 番の内容（テーマ）でございますが、1 年間議会として取り組まれ、どのような成果があったか報告が必要というご意見がございました。

5 番に進め方でございますが、自己紹介が少し長く、演説を聞いているように感じた、そういう質問があることは理解できるが、1 つの質問への回答が長いということもあり、やや問題ではないか、ほかの質問にももう少し時間をとってほしいというご意見がございました。

○遠山委員長 局長、ありがとうございます。取り急ぎアンケートの満足、不満足、その辺りの集計、ご意見を除いたところの部分についてのご説明を頂きましたけども、ご案内のと

おり、今回の議会報告会につきましてはユーチューブでの同時配信をしたことが大きな改革といえますか、変更点だったのかなと思います。

これにつきましてですけども、昨日ぐらいか、改めて見ますと、少しずつですけどアーカイブの視聴者数が上がっているんです。なので、当日ではなくても後から見られる方がいらっしゃるということを考えると、ユーチューブによる配信は一定の成果があったのではないかなというふうに考えましたけども、忌憚のない意見、その辺りについてどうでしょうか。皆さん、そう思われませんか。

（「そのとおり」と言う者あり）

○遠山委員長 ありがとうございます。なので、次回以降もこういう形で。

これに関連するんですが、場所のことで、確かにご意見いただきました。場所が狭くて多くの町民が参加することを想定してない。この委員会室でやりましたので、多分30人入ったらどうするんだというご意見だとは思いますが、ユーチューブのライブ配信をするという機材の関係上、ここでさせていただいたというところで、その辺りはご容赦を頂きながら、これが人数が増えていくことを想定するとすれば、今後場所のことも検討していかなきゃいけないかなと思うんですが、次回以降もこのような形でしていきたいというふうに私自身は感じました。これは後で取りまとめが必要かなと思うんですが。

アンケート結果を見させていただいて、総評ではないんですが、皆さん、イメージどおり、時間帯と場所についてはおおむね評価を頂いているのではないかなというふうに考えていますので、土曜日の午前中にやるというような形。委員会室も、私、一部の方から意見を頂いたんですが、委員会室というのは一般の住民の方がなかなか入る機会がないんです。ない中でここで議会の方と面と向かってお話をできたことが大変有意義だったというご意見もありますので、開かれた議会というイメージでしたら、委員会室、議場であるとかを使用するというのは、本当にある意味、いいきっかけだったのかなと思うので、時間帯と場所についてはこのような形。

回数につきましては、年4回以上というの、多分議会ごとにやったほうがいいんじゃないかというご意見だと思うんですが、この辺りにつきましては、テーマであるとか、参加者のことであるとか、この辺りがもう少し意見が増えてきたらやるべきで、まず取り急ぎはやや満足ということが過半を占めていますので、年に1回は継続してやっていきたいというふうに思っています。

ポイントになるのが内容と進め方で、進め方のやや不満というのが司会の私の不徳の至り

かなというふうに思うんですが、内容についてご意見があったのが、意見のところにもあるんですが、自己紹介が見てのとおり約50分かかったんです。12名皆さんが、それぞれの議員になる動機であるとか、やっていた施策というのが質問にはありましたのでということで、それが長過ぎたというご意見の中での、内容、テーマについての少し辛い評価だったのかなと思うんですが、一方で、ご意見、感想の中には、議員の皆さんのそれぞれの話が聞けたのがとてもよかったというご意見もありましたので、この辺りにつきましては自己紹介の時間を、今回は多分約4分。5分以内ということで内々で設定をしていたんですが、その辺りをうまく利用しながら、もう少し短くしながら、この辺りで内容についてはいけるのかなと。

ご意見の中で、1年間議会として取り組まれ、どのような成果があったかの報告ということで、全くそのとおりで、1年間、今まででしたら決算の審査の内容であるとか、1年間議会のやった取組、去年で言ったら視察の内容とかを発表していたんですが、その辺りについてのアンケート結果で、それはすごいよかったという意見があまりなかったものですから、今回は意見を聞いたものを答えるというのと、議員それぞれが話をするということで取りまとめたので、この辺りも次回の課題をまた次、持っていったらいいのかなというふうに思いました。

この中で、皆さん、議会報告会を通じまして率直に感じたこと、何か忌憚のないご意見ありましたら。私、すみません、今ぼろっとしゃべってしまいましたけれども、ありましたら挙手をお願いできますか。

木内委員。

○木内委員 木内でございます。

特に感じたのは、前段の自己紹介、もう長いなど。聞いてるほう、飽きるでというふうな発言を私させていただいたんですが、これはもう事実、改革せなあかんと思います。

特に感じているのは、1人で5問とか7問とかの質問が寄せられている、それを全部答えていると。これはこれから1人につき、質問は1点、もしくは多くても2点しか答えませんというふうにしなければ、1人の人が5問も6問も質問をされて、それに全部答えてるのが、時間の無駄やし、均等に皆さんの質問に答えたいという意味からすると、そこら辺は改善しなければならないんじゃないかなというのを痛感したところでございます。

○遠山委員長 木内委員、ありがとうございました。

今のご意見で、自己紹介が少し長かったので、その辺りについて改善の余地があるということと、やっぱり1人でたくさんの質問をされる方、その辺りの改善というところで、そこ

はおっしゃるとおりで、私も司会のところでうまく説明できなかったんですが、たくさん質問のある方は、全てを答えるわけではありませんみたいな注釈をまずすることが大事なのかなということはすごい感じたので、今後の参考にできるかなと思います。

ほかに何かご意見ある方、いらっしゃいますか。

竹中委員。

○竹中委員 竹中です。

持ち方、大きな形ですけども、今年度、ハイブリッドという形で、言うたら大幅な大改革をやったわけですね。それで、基本的にこの形を何年かやっぱり続けてみて、その中で不具合は修正していったらいいかなというふうに思うんですけども、ハイブリッドのやり方は続ける。

それから、会場についてのご指摘もありましたけれども、僕は次年度以降もここでやる以外ないかなというふうに思います。人数を見ましたら、今回来ていただいたのは11人ですね。仮にこれが2倍の20人、3倍の30人というふうになりましたら、どうなんでしょう、この部屋で絶対無理かというたら、椅子だけにするとかしきましたら、無理でもないかなというふうに思いますので、ハイブリッド式の開催で、席なんかはもう2倍、3倍の人が来られてもいいような対応をしておく。

それから、大分去年に比べて前もっての周知は進めた、今回はやったわけですけども、それでもこれぐらいの人数しか来ていただくことができなかったというのは、やっぱりもうちょっと周知徹底だとか、来ていただく手だてをしっかりとるということで、少なくともやっぱり二、三十人の方が来てもらえるような形を目標とするというのが必要じゃないかなというふうに思います。

それから、木内委員が言われたように、一人一人の最初の自己紹介を含めたのが長過ぎて、退屈と言ったらおかしいですけども、来てはる人、見ていただいている人もしんどかったと思うんです。それで、もう少しテンポのいい、1人当たりの発言をもう半分以下の時間にするだとか、あるいは、ああいう形はとらずに質問に回答中心の形にするというのも検討課題かなというふうに私は思いました。

今回は事前に全員に質問を求めるような形で質問が来ましたので、それに丁寧に答えるという形でやったわけですけども、これは私の個人的な意見ですけども、そういう質問がなければあれは必要なかったんじゃないかなというふうに思いますので、もし来年やる場合はできるだけやり取りの多い報告会にしたほうがいいかなというふうには思いました。

以上です。

○遠山委員長 ありがとうございます。

ほかに何か忌憚のないご意見。

氏原副委員長。

○氏原副委員長 今回は事前質問という形をとって、そして自己紹介が1人4分となったのは、1人の質問者からそれぞれの分、言えたという分があったと思います。それで自己紹介は長くなったとは感じておりますけども、それぞれの皆さんの議員の思いとか、そんなのも分かかってよかったと思います。

ただ、来年に向けてやる場合でしたら、当然事前質問しますけども、昨年あった事前質問はこんなのでしたというのも次回は載せることによって、同じ質問が来ない。今まででしたら、議員の紹介ということで、名前だけの紹介で、そして主に皆さん、会場に来た人の質問を聞いて、それにお答えしていくことが主流だった分が、今回ハイブリッド形式をとったことによって、ユーチューブで見ている人は意見は言えませんが、今後はそういったコメント欄を開放していくのも考えていかな駄目なのかなというのはありますけども、業務量としては大変なことになってしまいます。ですから、来年に向けてするのであれば、当然事前質問は設けておいて、昨年はこんな事前質問がありましたというのにしとけば、重なれば答えることができませんので、そういった分もまた考えていけばいいかなと思います。

以上です。

○遠山委員長 ありがとうございます。

ほかにご意見ございませんか。

服部委員。

○服部委員 服部です。よろしくお願いします。

今回、個人に対して同じ質問を全議員にされたパターンがありましたので、どうしても長くなるのは当然です。一人一人が自分の思っていることを、ほかの議員と違うところをやっぱり分かってもらいたいというので、いろいろな長くなるような原因の質問がありました。今さっき氏原委員が言われたとおり、今年はこの質問があったけど、また毎年同じ質問が来るとは限らないんですが、全員に聞くような質問の仕方は考えていったほうがいいんじゃないかなというふうに思います。

以上です。

○遠山委員長 ありがとうございます。

ほかに何かご意見ある方、いらっしゃいませんか。

(「なし」と言う者あり)

○遠山委員長 ありがとうございます。

今回のポイントが、先ほど氏原委員ありましたけども、映像で第11回、12回も残っていますが、この第14回も残っていますので、次の第15回の案内のときに、例えば前回はこんな質問がありました、これについてはこのユーチューブをご覧くださいみたいな形にできるというのも1個のポイントになるのかなと思いましたし、あとは意見もいろいろあると思いますが、個人的には全員の自己紹介の、あったじゃないですか。あれは簡単にまとめて、紙で配ってもよかったのかなという感じもしました。各議員の動機であるとかを配って、それについて1分ぐらいで補足説明をするというふうにすれば時間が短くなったのかなと。これについては次の送りということで、おおむね今回議会報告会、何とかたくさん見ていただこうということで、今までユーチューブで配信だけをしていた第10回、11回、12回。13回は、11回、12回に比べて視聴者数は約倍増しているんです。ということも踏まえると、今後もその取組をしながら、竹中委員が言っていました、いかにライブの方を増やす取組も今後検討していきたいというふうに思っていますので、議会改革特別委員会としましては、議会報告会、次回も年1回、最低でも年に1回という形で、ライブとユーチューブの同時配信ということでやっていくべきではないかという結論にしたいと思いますが、皆さん、いかがですか。

(「異議なし」と言う者あり)

○遠山委員長 ということでしたら、申し送りをしていきたいと思います。

次回の議会報告会が、来年、また同じような時期にあると思いますので、その前段の際に前回のことを踏まえて、今後はこうしていこうということで議論ができたというふうに思います。ありがとうございました。

3番まで終わりましたので、次回の委員会につきましてですが、次の議会のイメージは、先ほど話がありました、上牧町議会の業務継続計画のたたき台を皆さんで議論をしていただく、そのプラスの議題につきましてはまたお示しをしますが、そちらがメインになるかなと思います。

日程なんですけども、これから12月議会に入りまして、年末年始を迎えるので、たたき台を作成するのにかなり時間を要するのではないかなと思うんですが、できれば年度内ぐらいにある程度の方向で行きたいということで、2月の頭ぐらいに設定をしたいと思いますが、日程、タイトかと思いますが、よろしいですか。3人の皆さん、お手間かけますけども。

（「異議なし」と言う者あり）

○遠山委員長 では、2月の第2週になるのかな、3日の週というところで提案をさせてもらいたいと思いますが、2月3日の月曜日、いかがですか。

（「結構です」と言う者あり）

○遠山委員長 では、すみません、日にちが早くなってしまいましたけども、2月3日月曜日の午前10時開会で、第4回議会改革特別委員会を開会したいと思いますので、皆様、参加よろしくお願ひしたいと思います。

以上であります、その他、何か皆さん、ご報告事項等ございませんでしょうか。

（「なし」と言う者あり）

○遠山委員長 ないようですので、以上をもちまして第3回議会改革特別委員会を閉会したいと思います。次回、第4回議会改革特別委員会は、年が明けまして令和7年2月3日月曜日午前10時開会とさせていただきます。皆様、どうもお疲れさまでした。

閉会 午前11時56分

上牧町議会委員会条例第 27 条第 1 項の規定により署名する。

議会改革特別委員長 遠 山 健 太 郎